

(社) 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会
第 17 回 PLM 分科会 (P14SC) 議事録

1. 日 時 2010 年 11 月 16 日 (火) 13:30~16:30
2. 場 所 原子力安全基盤機構 本館 9 階 9G 会議室
3. 出席者 (敬称略)
(出席委員) 鈴木 (主査), 渡邊 (副主査), 文能 (幹事), 石井 (光) (楠代理), 矢野, 下家, 猿渡, 田村, 皆川, 西山, 萬年, 利沢, 今村, 三山, 成瀬, 新井, 橘高, 松本 (松浦代理), 石井 (青山代理), 望月, 遊佐 (22 名)
(欠席委員) 大木, 中野 (2 名)
(常時参加者) 山口, 中川, 伊藤 (中村代理)
(傍聴者) 曾佐, 水崎, 石井, 副島, 伊藤
(事務局) 岡村
4. 配付資料
資料P14SC-17-1 第16回PLM分科会議事録 (案)
P14SC-16-2 人事について (案)
P14SC-16-3-1 PLM実施基準2011年追補版の専門部会本報告案
P14SC-16-3-2-B BWRの経年劣化メカニズムまとめ表詳細版：2011年追補版の
意見対応 (案)
P14SC-16-3-2-P PWRの経年劣化メカニズムまとめ表学会標準版：2011年追補版の
意見対応 (案)
P14SC-16-3-3-B BWRの経年劣化メカニズムまとめ表学会標準版：2010年版正誤表 (案)
P14SC-16-3-3-P PWRの経年劣化メカニズムまとめ表学会標準版：2010年版正誤表 (案)
P14SC-16-3-4-B BWRの経年劣化メカニズムまとめ表学会標準版：2011年追補版での
変更点一覧表 (案)
P14SC-16-3-4-P PWRの経年劣化メカニズムまとめ表学会標準版：2011年追補版での
変更点一覧表 (案)
P14SC-16-3-5-B BWRの経年劣化メカニズムまとめ表詳細版：2011年追補版 (案)
P14SC-16-3-6-B BWRの経年劣化メカニズムまとめ表学会標準版：2011年追補版 (案)
P14SC-16-3-6-P PWRの経年劣化メカニズムまとめ表学会標準版：2011年追補版 (案)
P14SC-16-3-7 PLM実施基準2011年追補版 (案)
P14SC-16-4-1 PLM実施基準2008年版の英訳 (案)
P14SC-16-4-2 PLM実施基準2008年版英訳の意見対応 (案)
P14SC-16-4-3 PLM実施基準共通訳語表 (案)
P14SC-16-5 PLM実施基準本格改定スケジュール (案)

P14SC-16-6 PLM実施基準の概要（案）

（BWRの経年劣化メカニズムまとめ表に関する資料P14SC-16-3-2～6-Bは、前回分科会にて審議の上、全体確認依頼のメールで最終版が配布されているため、配布を省略。）

5. 議事

会議に先立ち、出席委員は代理を含めて 21 名で、定足数を満足している旨確認した。

（1）前回議事録確認（P14SC-17-1）

文能幹事より、第 16 回 PLM 分科会議事録（案）（P14SC-17-1）が紹介され、承認された。

（2）人事（P14SC-17-2）

①新委員の選任

文能幹事より、楠木委員の退任が報告され、新委員として日本原子力発電（株）の石井光雄氏が推薦されている旨説明され、審議の結果新委員として選任された。

②常時参加の承認

文能幹事より、日本エヌ・ユー・エスの中村氏から常時参加の希望がある旨紹介があり、審議の結果常時参加が承認された。

（3）「原子力発電所の高経年化対策実施基準（追補 2）」（案）の専門部会書面投票結果の報告（P14SC-17-3, 17-4-1～2）

事務局より、P14SC-17-3 に基づいて、「原子力発電所の高経年化対策実施基準（追補 2）」（案）が専門部会書面投票で可決され、次回システム安全専門部会への報告を経て 12 月 8 日の標準委員会に本報告される見通しであることが報告された。また、文能幹事より、P14SC-17-4-1～2 に基づいて、標準委員会に本報告する資料の紹介があり了承された。

（4）PLM 実施基準 2008 年版の英訳（P14SC-17-5-1～4）

文能幹事より、P14SC-17-5-1～4 に基づいて、PLM 実施基準 2008 年版の英訳版について、作業の進捗状況が説明された。さらに、次回システム安全専門部会並びに標準委員会に中間報告することが提案され了承された。

主な審議内容を以下に示す。

- ・今後、12 月からネイティブチェックにかけて 3 月の本報告を目指すので、コメントは 12 月中に出して欲しい。
- ・共通訳語集は、これまでばらばらであった訳語を統一する重要なものである。良く

見て欲しい。

(5) 高経年化対策実施基準の本格改定スケジュール及び分担

文能幹事より、P14SC-17-6 に基づいて、PLM 実施基準の本格改定の全体スケジュール及び作業分担（案）が説明され、審議の結果、一部見直しを行った。

主な審議内容を以下に示す。

- ・高サイクル熱疲労の担当には、PWR の関係者を入れるべき。
 - 低サイクル疲労の担当と入れ替えることとする。
- ・電気計装、コンクリートの担当は、それぞれ三山委員、西山委員とする。
- ・反映すべき最新知見の範囲はどこまでか。
 - 他の規格基準，研究成果，海外情報などありとあらゆるものが対象となる。
 - 高経年化技術評価から得られた知見は最低限必要。更に読み込んでいる規格基準も必要。
 - 2008 年版作成時よりも明確な記載が可能となっているものもあるはず。
- ・附属書 D の改定については、戦略的に進める必要がある。
 - 耐震まとめ表の（案）を作成中であり、まずは次回どのようなものか紹介し、理解いただいた上で対象とする範囲等を議論したい。
- ・2012 年までに改定版が発行できると、2013 年はそれを踏まえた技術評価が可能となるが前倒しできないか。
 - 新検査制度が始まって 3 年経った成果の検討が行われるので、その結果を踏まえて改定する方が良い。
 - 現実的にもスケジュールの前倒しはむずかしい。
- ・F,C,D 以外の附属書についても、適宜議論していきたい。

(6) その他

石井委員代理より、PLM 実施基準（追補 1）：2010 の技術評価のスケジュールについて説明があった。

6. 今後のスケジュール等

次回分科会は、2011 年 2 月 25 日（金）の 13:30 から行うこととなった。

以 上